

ASEAN 人材育成奨学パートナーズ支援（AHEAD50）
ASEAN 事務局 ASEAN 統合モニタリング部貿易・産業・新興課題分析・監視課職員
招へいの記録（短期招へい第3陣）

1. プログラム概要

【目的・概要】

ASEAN 事務局 ASEAN 統合モニタリング部貿易・産業・新興課題分析・監視課の幹部職員 4 名が、2025 年 11 月 16 日から 11 月 22 日の間、日本の先進的な産業エコシステム、最先端のイノベーション創出の取り組み、そしてグローバルな経済変動に対処してきた経験を学ぶために訪日しました。本プログラムを通じて、ASEAN 諸国間の協力とイノベーションを強化し、新技術や社会課題への対応を通じて地域の経済成長、競争力、及び持続可能性の向上に繋がることが期待されます。

【AHEAD50】

AHEAD50（ASEAN Human Educational Development Scholarship Partners）は、日本 ASEAN 友好協力 50 周年を契機に開始した招へい事業。ASEAN 事務局等の有望な職員に対し、日本の政策・制度・立場等につき学ぶ機会を提供し、人材育成を通じて ASEAN 事務局の強化を図るとともに、日本との円滑な協力を促進することを目的としている。

【参加者】

ASEAN 統合モニタリング部 貿易・産業・新興課題分析・監視課（Analysis & Monitoring on Trade, Industry & Emerging Issues Division (AMTIED), ASEAN Integration Monitoring Directorate）の幹部職員 4 名（部長 1 名、課長級 1 名、上級職員 1 名、職員 1 名）

【訪問地】 東京都、京都府

【日程】

■ 招へいプログラム：

11 月 16 日（日曜日） 成田国際空港より入国

【ブリーフィング】

11 月 17 日（月曜日） **【講義】**「イノベーション政策の方向性について」

講師：経済産業省 イノベーション・環境局総務課国際室 渡部 博樹 室長

【視察】エイブリック株式会社（半導体製造企業） 工場見学

ビジネスパートナーユニット 総務安全グループ マネージャー 福田 幾夫 氏

11 月 18 日（火曜日） **【視察】**HAL 東京 学内視察

日本教育財団 企画本部 豊田 洋平 部長

・先進的な教育界と産業界の連携・エコシステム、最先端分野におけるイノベーション創出に資する教育システム

東京都から京都府へ移動

- 【講義】「未来社会像の提示と構想力の醸成について」
 講師：京都工芸繊維大学
 副学長／未来デザイン・工学機構 機構長 電気電子工学系
 山下 兼一 教授
 未来デザイン・工学機構 副機構長
 水野 大二郎 教授
 未来デザイン・工学機構 KYOTO Design Lab [D-lab] ラボ長
 ビライ・エルウィン 教授
 デザイン・建築学系 ロンドン芸術ダブルディグリーコース コース長
 照井 亮 准教授
 デザイン・建築学系 ロンドン芸術ダブルディグリーコース
 バルナ・ゲルゲイ・ペーター 特任准教授
- 11 月 19 日（水曜日） 【講義】「日本における創造的破壊の企業事例、起業に対する政策支援、イノベーションの最新動向」
 講師：立命館大学大学院（大阪いばらきキャンパス）
 テクノロジー・マネジメント研究科 研究科長 湊 宣明 教授
 テクノロジー・マネジメント研究科 黄 巍准教授
 【文化体験】茶道体験（弦庵）
 【視察】比叡山延暦寺
- 11 月 20 日（木曜日） 京都府から東京都へ移動
 【講義】「ASEAN 加盟国が金融統合やデジタル技術などの新分野における持続可能性やレジリエンスの課題に対する実践的な対処を促す、政策研究や能力開発を通じた支援活動」
 講師：アジア開発銀行駐日代表事務所研究所（Asian Development Bank Institute）
 バンバン・ブロジョネゴロ 所長 CEO
 研究部 研究部長代理／シニア リサーチ フェロー
 ラフト・ディル・バハドゥール 氏
 人材育成部 スペシャリスト
 ポンポプ（ベン）・メタクラワット 氏
- 11 月 21 日（金曜日） 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
- 11 月 22 日（土曜日） 成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
<p>11月17日【講義】経済産業省</p>	<p>11月17日【視察】エイブリック株式会社</p>
	
<p>11月18日【視察】HAL 東京 学内視察</p>	<p>11月18日【講義】京都工芸繊維大学</p>
	
<p>11月19日【講義】立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科</p>	<p>11月19日【文化体験】茶道体験（弦庵）</p>
	
<p>11月19日【視察】比叡山延暦寺</p>	<p>11月20日【講義】アジア開発銀行駐日代表事務所 研究所 (Asian Development Bank Institute)</p>

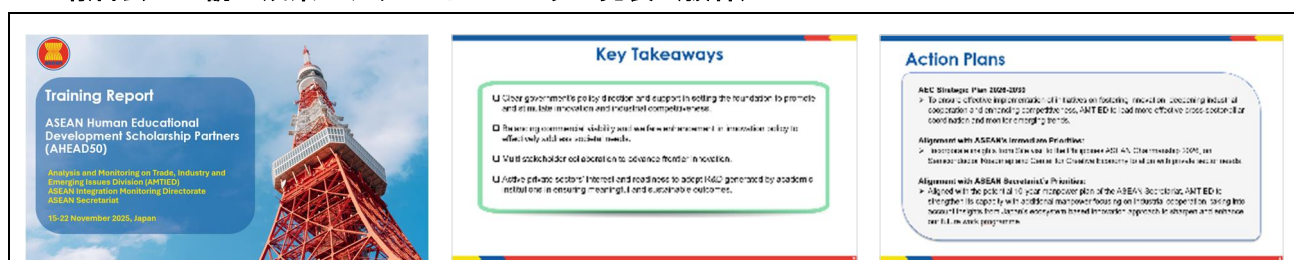
3. 参加者の感想（抜粋）

- ・ 議論の質が非常に高く、セッション時間がより長ければ、さらに有益な機会になったと思います。
- ・ とても詳細なプレゼンテーションでした。近い将来、是非ともつくばの施設を訪問させていただきたく、その機会を楽しみにしております。
- ・ 日本、ASEAN、そしてその先にとって極めて重要な戦略的セクターにおける産業界のプレイヤーとの、素晴らしく有益な議論でした。視察も同様に興味深く、半導体がどのように活用されているかを直接見学でき、大変有意義でした。
- ・ エイブリック株式会社による目覚ましい成果と、質の高いプレゼンテーションに深く感銘を受けました。
- ・ 職業訓練校が関連産業と強固に連携し、業界のニーズに基づいた技能や人材を育成している現状は、非常に興味深いものでした。
- ・ 限られた時間の中で多くの取り組みを知ることができましたが、さらに時間があれば、より深く学ぶ機会が広がったと思います。
- ・ 各教授陣による全てのプレゼンテーションは、非常に洞察に満ちたものでした。
- ・ 京都工芸繊維大学 未来デザイン・工学機構は、デザインから生分解性素材の開発、さらには歴史的文化的重要品の価値向上に至るまで、多岐にわたる興味深いプロジェクトを手がけており、いずれも非常に示唆に富んでいました。

4. 報道記事等

 <p>2025年11月14日に、ASEAN事務局の職員らと一般財団法人日本国際協力センター（JICA）の職員らからなる訪問団が本学を訪問し、本学の未来デザイン・工学機構などの取り組みについて見学しました。このたびは訪問団は、JICAASEAN（ASEAN人材育成開発パートナーズ会議）のプログラムとして行われたものです。</p> <p>訪問では、山下 隆一 未来デザイン・工学機構長から本学と未来デザイン・工学機構の概要の説明があり、大野 大二郎 未来デザイン・工学機構副機構長、Erwin Kray KYOTO Design（建築からは未来デザイン・工学機構及び、山下のラボ、センターの取り組みが紹介されました。最後に、副院長デザイン・建築学長、津教授とHana Gogely Polak 特任准教授からロンドン工科大学とのダブル・ディグリー・プログラムでの取り組みが紹介され、それぞれの取り組みについて活発な意見交換が行われました。</p> <p>本学、訪問団、本学で情報学の「JointTech-Seminar 2025」を開催し、産学の関係及び教育活動に深い関心を寄せていました。</p> <p>訪問団の学部の様子</p> <p>訪問団の学部の様子</p> <p>【このページに関するお問い合わせ先】 総務企画課国際関係 TEL: 075-724-7016 E-mail: kato@kit.ac.jp（Eメールを意に実施してください）</p>	 <p>kyotoinstitute・フォロワー</p> <p>kyotoinstitute 先日は日本国際協力センターの御一行がお見えになりました。インドネシア出身、マレーシア出身、職員の方々です。」</p> <p>いいね! 27件 10件</p> <p>コメントを閲覧</p>
<p>2025 年 11 月 25 日（国立大学法人 京都工芸繊維大学のウェブサイト）</p> <p>「ASEAN 事務局の職員らが訪問されました」</p>	<p>2025 年 11 月 21 日（弦庵（茶道体験）の Instagram）</p> <p>「先日は日本国際協力センターの御一行がお見えになりました。インドネシア出身、マレーシア出身、職員の方々です。」</p>

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び

経済産業省やアジア開発銀行研究所での講義や議論、京都工芸繊維大学や立命館大学での講義、エイブリック株式会社やHAL 東京の視察を行い、イノベーションに関して非常に有意義な意見交換や多くの学びがありました。

◆ 主な学び

政府のイノベーション政策の方向性が明確であり、ビジネスの可能性と社会への利益のバランスを取りながら政策を進めていること、また多くのステークホルダーが協働してイノベーションを進めようとしており、学术界が生み出した技術について、産業界が応用して持続可能で意義のあるものにしようとしていました。

【アクション・プラン】

AEC2026-2030 戦略的計画として、イノベーションを進める取り組みを効果的に推進し、産業界での協力を進めて競争力を高めるため、業界や組織の壁を越えた調整を効率的に行います。また視察での学びをフィリピン ASEAN チェアマンシップ 2026 に取り入れるとともに、日本のエコシステムに基づくイノベーションの手法を取り入れて ASEAN 統合モニタリング部貿易・産業・新興課題分析・監視課（AMTIED）の能力を強化します。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）